

雨のうた／ことばでみちあんない
みの回りのものを読もう

かん字をおぼえよう……

●新しいかん字——かん字をれんしゅうしましょう。

回	分		
回回回回回回	分分分分分分	わ・かる わ・ける わ・かれる わ・かつ	
かい	「三回目」		
回	分		

●読み方が新しいかん字——読みがなを書きましよう。

会社	①		
会	②		
二回	③		
みの回	④		

れんしゅう

1 の読みがなを書きましよう。

- ① とても分かりやすい
- ② 二回まがる

② れいのように、文をつくりましよう。

れい あめ ↓ あめといっしょにあめのうた。

① ゆき ↓

② はな ↓

③ いぬ ↓

③ れいのように、「きつと」「をつかって、文をつくりましよう。

れい きつと、あしたははれるだろう。

4 **れい** のように、雨がなにかといっしよにうたうたうたとをあらわした、「雨のうた」を三つつくります。

れい やね ↓ やねで とんとん やねのうた

① かお ↓

② みち ↓

③ まど ↓

5 まちあわせのばしよを、でんわでれんらくするとき、たいせつなごと一つに○をつけましょう。

ア どんなくつをはいてくるとよいかを教える。

イ 近くのえきになにかがあるかを、ていねいに言う。

ウ 目じるしになるものを、はっきりと言う。

6 あなたが、友だちとびいがかでまちあわせるとしたら、どんなばしよをえらびますか。

7 **しぎ**のちびずを見て、えきにいるともだちを「図書館」にあんないする文を書きましょう。

